

2025年度 施策マネジメントシート【2024年度実績評価】

作成: 2025年 6月 20日

| | | | | | | |
|------|-------|--------------|------|-------------------------|-------|--------|
| 施策番号 | 施策名 | 廃棄物の抑制と適正な処理 | 基本目標 | 自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり | | |
| | | | 政策名 | 自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全 | | |
| | 主管課 | 環境土木課 | | 課長名 | 橋本 直樹 | 内線 414 |
| | 施策関係課 | 農林課 | | | | |

1. 施策の方針と成果指標

| 施策の方針 | | 対象 | 意図 | | | 結果 | | |
|---|--|--|---------|--|--|---------------------------------|--|--|
| 町民・事業者、行政が互いに協力し、ごみの減量化や資源リサイクルの取組を進め、本町らしい資源循環型社会の構築を目指すとともに、快適な生活環境づくりをすすめます。 | | | 町民・事業者 | | | ・ごみの減量化と資源リサイクルを推進し、適正な廃棄物処理を行う | | |
| 成果指標 | | | 意図 | | | 結果 | | |
| ①1人1日当たりの家庭から排出するごみの量 | | | 環境土木課調べ | | | 快適な生活環境と資源循環型社会の構築 | | |
| ②リサイクル率 | | | 環境土木課調べ | | | ③ | | |
| ④ | | | | | | | | |
| 成果指標 設定の考え方 | | <p>①人口や事業活動に左右されない指標とするため、1人当たり家庭ごみに限定した成果指標とし、1割削減を目標値として設定。 ②ごみを燃やす・埋め立てる処理方法ではなく、資源化することが重要であることから成果指標とし、現状維持以上を目標値として設定。</p> | | | | | | |

2. 施策の事業費

| | 策定期決算 | 2023年度決算 | 2024年度決算 | 2025年度決算 | 2026年度決算 |
|------------|---------|----------|----------|----------|----------|
| 施策事業費 (千円) | 229,096 | 238,955 | 244,294 | | |

3. 施策の達成状況

| (1)施策の達成度とその考察 | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|--------------------------|--|------|---|---|---|---|---|--|
| ①2024年度の成果評価 (前年との比較) | <input type="checkbox"/> 成果は向上した | 想定される理由 | 成果指標①向上→ごみ減量化に取り組んでいる。 成果指標②微減→特段の理由なし | | | | | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった | | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 成果は低下した | | | | | | | | | |
| ②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる | 根拠 (理由) | ①ごみ処理基本計画の重点取組事項を進めることにより、ごみ減量化及び適正排出に向けた対策を講じる。 ②町広報誌等でごみの資源化を周知し、地域には説明会を開催するなど、町民の意識啓発を図る。 | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しい □ いか、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 | | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい | | | | | | | | | |
| (2)施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括 | | | | | | | | | | |
| ①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業 | 可燃・不燃等ごみ収集処理事業 | ②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業 | | | | | | | | |
| | 資源ごみ収集処理事業 | | | | | | | | | |
| | 資源物集団回収支援事業 | | | | | | | | | |
| ③事務事業全体の振り返り(総括) | <p>●廃棄物の適正処理(可燃・不燃等ごみ収集処理事業) →ごみネット・カラス除けサークルの支給により、収集時のごみ散乱が減少し、住民からの評価は高い。不法投棄監視カメラ設置箇所のポイ捨てごみの減少が見られ、一定の抑止効果はある。</p> <p>●廃棄物の抑制(資源ごみ収集処理事業) →広報誌(エコナビ通信)や各イベントでのごみ分別説明コーナーの設置し、正しい分別と資源化についての周知を行っている。また、コンポスター助成事業の継続により、生ごみの堆肥化を推進している。</p> | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| (3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較) | | | | | | | | | | |
| 担当課 評価 | 1人1日当たりの家庭から排出するごみの量は減少傾向、リサイクル率は微減であることから維持したと評価する。 | | | 進捗結果 | A | B | C | D | E | |
| | | | | | | | | O | | |

A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した
D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持したC:(後期実施計画策定期と比較して)前進した
E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

| | |
|-----------------|--|
| 施策を取り巻く状況と今後の予測 | <p>「施策を取り巻く状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和10年度供用開始に向け、新中間処理施設(新くりんセンター)整備が進められている。 <p>「今後の予測」</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化等により、ごみ分別や適正排出が困難な世帯が増加することが見込まれる。 |
| | <p>この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 芽室町のごみ分別は難しく、収集不可の判断も厳しい。 →ごみカレンダー・ゴミ分別の手引き、町広報誌(エコナビ通信)やSNSなどを活用し、周知啓発を行った。 町指定の色付き資源ごみ袋を廃止し、透明及び半透明袋に変更してほしい。 →令和10年度供用開始の新中間処理施設はごみ分別、搬入内容が変更となることから、指定ごみ袋(色付き)のあり方について合わせて検討する。 |

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

| |
|---|
| <p>●「芽室町ごみ処理基本計画」の推進</p> <p>令和2年度に策定した「ごみ処理基本計画」に基づき、ごみ減量と資源化による環境負荷の低減につなげ、資源循環型社会の形成に向けた取組みを進める。</p> <p>●農業廃棄物の適正処理の推進</p> <p>「芽室町農業用廃プラスチック適正処理対策協議会」において、常に見直しを図りながら、引き続き適正処理を推進する。</p> |
|---|

6. 経営戦略会議(府内評価)

| | | | | | | | |
|-------------|--------------------|---|---|---|---|---|---|
| 評価 | 成果指標等から、維持したと評価する。 | | A | B | C | D | E |
| | | 進捗結果 | | | | ○ | |
| 今後の取組に対する意見 | 5に記載の取り組みを進めてください。 | A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した | | | | | |

7. 総合計画審議会(外部評価)

| | | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 評価 | 府内評価同様に維持したと評価する。 | | A | B | C | D | E |
| | | 進捗結果 | | | | ○ | |
| 今後の取組に対する意見 | <ul style="list-style-type: none"> 新たなごみ分別について、理解を得ながら方法を検討して欲しい。 ゴミの分別が難しいという声が多い。AIなどを活用して一步進んだ仕組みを検討してもらいたい。 粗大ごみのリサイクルをしている市があるが導入できないか。 新くりんセンターに向けて、構成市町村の分別は同じにしてもらいたい。 ゴミ集積所が町内会で管理できない問題が顕在化していくと思うが、誰がそれを管理するかなど、対策を考える必要があると思われる。 | A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した | | | | | |